

家庭における新型コロナウイルス対策について

ウイルスは人の手を介して汚染を広げていくため、各自の手洗い・手指消毒は感染対策の基本です。

また、頻繁に触れる箇所を清掃・除菌し、環境を清潔に保つことも効果的です。

清掃・除菌する箇所



机の上・椅子、引き出し



スイッチ・
押しボタン



ドアノブ
手すり



ベッド柵

洗面台・蛇口



水洗レバー
ウォシュレットボタン
ペーパーホルダー
便座・便座カバー

清掃・除菌の方法

- スプレー等による噴霧は、ウイルスをまき散らし、また吸引による健康被害もあり危険です。
- 消毒液を浸したタオル等で人がよく触れる場所を清拭します。
- タオルは一般的な雑巾がけと同じ程度に絞って拭きましょう。
- アルコール製剤以外の消毒薬で拭いた場合には、洗剤成分や匂いが残らないように水拭きを追加しましょう。
- 窓やドアを開け、換気しながら実施し、終了後も1時間程度開けておきましょう。
- カーテンやカーペット、布団は下痢や嘔吐で汚染されていないければ洗わなくても大丈夫です。

消毒液の作り方について

市販の漂白剤の濃度を確認し、水道水で薄めて使います。

原液の濃度と製品名	0.05%次亜塩素酸 ナトリウム液 (トイレ以外の清拭用)		0.1%次亜塩素酸 ナトリウム液 (トイレの清拭用)	
	原液	水	原液	水
1% ミルトン、ミルクポン等	約 50ml	1L	約 100ml	1L
5~6% ハイター、ブリーチ ピューラックス等	約 10ml	1L	約 20ml	1L
12% 業務用製品等	約 4 ml	1L	約 8ml	1L

その他の掃除用洗剤（マイペット等）は、製品の使用方法を確認し、必要に応じて薄めて（薄めなくて良いものもあります）使います。

水で薄めた消毒液は、時間がたつと濃度が低下してきますので、作り置きせずに当日使用する分だけを作るようにしましょう。

次亜塩素酸ナトリウムは、長時間放置しておくとも金属を腐らせる可能性がありますので、消毒後 10 分程度で水拭きしましょう。

拭き掃除に用いたタオルや雑巾は廃棄せず、洗濯乾燥後に再利用しても大丈夫です。